

令和9年度

公立はこだて未来大学
学生募集要項

総合型選抜



公立はこだて未来大学
FUTURE UNIVERSITY HAKODATE

目 次

アドミッション・ポリシー（入学者受入れ方針）	1
入学者選抜概要	4
総合型選抜要項	
Ⅰ 出願手続	
1 募集人員	5
2 試験期日	5
3 出願資格	5
4 大学入学共通テスト	6
5 提出方法	7
6 入学検定料	7
7 提出用書類	8
8 出願上の注意	8
9 併願上の注意	9
10 自己推薦資料	10
Ⅱ 入学者選抜方法	
1 選抜方法	11
2 面接時の注意事項	12
3 第二次選考試験会場	12
4 第二次選考受験上の注意	13
5 不正行為	14
Ⅲ 合格発表	
1 合格発表日	15
2 合格発表の方法	15
Ⅳ 入学手続	
1 入学手続期間	15
2 入学手続方法	15
3 入学料等	16
4 入学手続上の注意	16
Ⅴ 入学者選抜に関する情報の公開・開示	
1 総合型選抜に係る個人情報の開示	17
Ⅵ その他	
1 授業料	17
2 ノートPC	17
3 奨学金等	17
4 入学前導入教育	17
総合問題A出題ポリシー	18
総合問題B出題ポリシー	19

アドミッション・ポリシー（入学者受入れ方針）

公立はこだて未来大学は「オープンスペース・オープンマインド」をモットーとし、システム情報科学に関わる、高い専門能力、問題探究力・構想力、情報表現能力・チームワーク力、学び続ける力、専門家としての人間性という5つの素養を育むことを目標としています。

この目標に向けて、本学では教養基礎科目群、コミュニケーション科目群、学部共通科目群、学科専門科目群、コース専門科目群において、知識と技術、解決力、コミュニケーション力を身につけます。また、プロジェクト学習をはじめとする演習・実習、討論、フィールドワーク等を通じて、主体的に学ぶ姿勢を身につけます。学部教育の集大成として、卒業論文を執筆し発表を行います。

そのため、次のような資質と能力をもつ人を求めています。

- ・ 本学で学ぼうと必要となる学力を備えている人
- ・ システム情報科学分野に強い関心をもっている人
- ・ 計算論的思考力を習得し、情報論的社会観を備えて、未来に貢献しようとする意欲をもっている人

（入学者選抜の基本方針）

- ・ 多様な入学者選抜方式を採用し、本学での学修に強い意欲をもつ人を受け入れます。
- ・ 一人ひとりの資質と能力を重視し、個人の属性による差別を行いません。

入学者選抜は学部一括の募集によって行います。入学後、第2学年進級時に各学科・コースに配属します。ただし、編入学については学科ごとの募集となります。

● 一般選抜（前期日程）

- ・ 本学で学ぼうと必要となる理数系および言語系の知識・技能およびその運用力、思考力・判断力・表現力を有するかを評価します。
- ・ 出願書類の活用により多様な人々と協働して主体的かつ継続的に学ぶ意欲を有するかを総合的に評価します。

（選抜方法）

〔概要〕大学入学共通テストと個別学力検査により、修学に必要な総合的な知識・技能、思考力・判断力・表現力を有することを問う入試です。

〔大学入学共通テスト〕国語・数学・理科・情報・外国語（英語とリスニング）の5教科を課し、理数系および言語系を中心に知識・技能、思考力・判断力・表現力を評価します。

〔個別学力検査〕理数系の基礎となる数学、および英語の記述式試験を課すことにより、知識・技能、思考力・判断力・表現力、システム情報科学分野の学びの実現のために自ら目標設定し、責任を持って取り組もうとする主体性を検査します。

さらに、数学では解答に至る過程を論理的に正しく的確に記述できる能力を、英語では出題する文章と問題に独自の焦点をもたせ、情報や考えを理解し伝える能力を評価します。

〔合否判定〕大学入学共通テストの得点と個別学力検査の得点に加えて、出願書類の活用により多様な人々と協働して主体的かつ継続的に学ぶ意欲を総合的に評価し、合格者を決定します。

● 一般選抜（後期日程）

- ・ 本学で学ぼうえで必要となる理数系および言語系の高い知識・技能，思考力・判断力・表現力を有するかを評価します。
- ・ 出願書類の活用により多様な人々と協働して主体的かつ継続的に学ぶ意欲を有するかを総合的に評価します。

（選抜方法）

〔概要〕大学入学共通テストにより，修学に必要な知識・技能，思考力・判断力・表現力を有することを問う入試です。

〔大学入学共通テスト〕国語・数学・理科・情報・外国語（英語とリスニング）の5教科を課し，理数系および言語系を中心に知識・技能，思考力・判断力・表現力を検査します。

〔合否判定〕大学入学共通テストの得点に加えて，出願書類の活用により多様な人々と協働して主体的かつ継続的に学ぶ意欲を総合的に評価し，合格者を決定します。

● 総合型選抜

- ・ システム情報科学分野に強い関心があり，本学で学ぼうえで必要となる理数系および言語系の基礎的な知識・技能を有しているかを評価します。
- ・ さらに，思考力・判断力・表現力に優れ，多様な人々と協働して主体的かつ継続的に学ぶ意欲をもつこと，システム情報科学の学びに結びつく優れた学力や技能，活動実績，社会経験などを有していることを，面接によって評価します。

（選抜方法）

〔概要〕適性検査により基礎的な知識・技能を，面接によりシステム情報科学分野への強い関心および自己推薦の根拠となる具体的な活動実績を有することを問う入試です。

〔適性検査〕総合問題Aでは理数系の基礎的な能力，総合問題Bでは言語理解・言語表現の基礎的な能力を評価するため，記述式の問題を出題し，本学で学ぼうえで必要となる基礎的な知識・技能を有するかを検査します。

〔面接〕プレゼンテーションおよび対話面接により，思考力・判断力・表現力，多様な人々と協働して主体的かつ継続的に学ぶ意欲および本学で学ぼうえでの適性などを検査します。対話面接では，志望理由書や調査書などの出願書類を活用します。

〔合否判定〕適性検査と面接を総合的に評価して合格者を決定します。

● 学校推薦型選抜

- ・ 成績が優秀であり，修学のための能力と適性に基づいて在学高等学校長より推薦を受けた人を対象とします。
- ・ システム情報科学分野に強い関心があり，本学で学ぼうえで必要となる理数系および言語系の基礎的な知識・技能を有するかを評価します。
- ・ さらに，思考力・判断力・表現力に優れ，多様な人々と協働して主体的かつ継続的に学ぶ意欲をもつことを，面接によって評価します。
- ・ 本選抜では公立大学の責務として，地域における高等教育の機会を提供し，知的・文化的拠点としての役割を果たすため，全国卒に加え，地域卒および地域を対象としたはこだて卒を設けています。

(選抜方法)

〔概要〕適性検査により基礎的な知識・技能を、面接により本学で学ぶために必要となる能力と適性を有することを問う入試です。

〔適性検査〕総合問題Ⅰでは理数系の基礎的な能力、総合問題Ⅱでは言語理解・言語表現の基礎的な能力を評価するため、記述式の問題を出題し、本学で学ぼううえで必要となる基礎的な知識・技能を有するかを検査します。

〔面接〕対話面接により、思考力・判断力・表現力、多様な人々と協働して主体的かつ継続的に学ぶ意欲および本学で学ぼううえでの適性などを検査します。対話面接では、志望理由書や調査書などの出願書類を活用します。

〔合否判定〕それぞれの枠について、適性検査と面接を総合的に評価して合格者を決定します。

● 編入学試験

- ・ システム情報科学分野に強い関心があり、編入学後に必要となる理数系、言語系および専門領域に関する基礎的な知識・技能を有するかを評価します。
- ・ さらに、思考力・判断力・表現力に優れ、多様な人々と協働して主体的かつ継続的に学ぶ意欲をもつことを、面接によって評価します。
- ・ 本選抜においては、地域の工業高等専門学校生の進学のを確保するため、全国枠に加え、北海道内を対象とする特別選抜枠を設けます。

※ なお、編入学試験においては学科ごとに募集し、合格後に配属先コースを決定します。

＜一般選抜・特別選抜＞

(選抜方法)

〔概要〕学力検査および面接により、編入学に際して必要となる十分な学力と知識・技能、論理的思考力を有することを問う入試です。

〔学力検査〕理数系科目である数学と情報に加え、英語の外部試験の受検を課すことにより、編入学に必要な知識・技能と、専門領域に関する基礎的な知識を身につけているかを検査します。

〔面接〕対話面接を課し、面接員との対話を通じて、思考力・判断力・表現力と多様な人々と協働して主体的かつ継続的に学ぶ意欲を評価します。

〔合否判定〕一般選抜では学力検査と面接を総合的に評価して合格者を決定します。特別選抜においては、面接での評価によって合格者を決定します。

＜留学生特別選抜＞

〔概要〕編入学試験として、留学生を対象とした特別選抜を行います。ここでいう留学生とは、出入国管理局および難民認定法に定める「留学」の在留資格を有する者または入学時に取得できる者のことを指します。

〔学力検査〕日本留学試験（EJU）を利用した学力検査を課すことにより、編入学に必要な知識・技能を検査します。

〔面接〕対話面接を課し、面接員との対話を通じて、思考力・判断力・表現力、多様な人々と協働して主体的かつ継続的に学ぶ意欲、および本学で学ぼううえでの専門的な知識、適性などを評価します。

〔合否判定〕日本留学試験の成績、出願書類および面接により総合的に評価して合格者を決定します。

令和9年度（2027年度）公立はこだて未来大学 入学者選抜概要

本要項の内容について追加や変更等が生じた場合は、本学Webサイト内にてお知らせいたします。受験を予定されている方は、下記のURLにて最新情報をご確認ください。

URL : <https://www.fun.ac.jp/admission/>



1 募集人員

学 部 名	一般選抜		総合型 選 抜	学校推薦型選抜			入学定員
	前期日程	後期日程		はこだて枠	地域枠	全国枠	
システム情報科学部	120人	18人	35人	12人	40人	15人	240人

※システム情報科学部の定員は、情報アーキテクチャ学科120人、複雑系知能学科120人ですが、学部一括で入学者を選抜し、2年進級時に各学科へ配属します。

2 試験期日

◆総合型選抜

出願期間 令和8年 9月15日（火）～令和8年 9月25日（金）
 第一次選考合格発表 令和8年10月 9日（金）※選考があった場合
 第二次選考 令和8年10月31日（土）・11月 1日（日）
 合格発表 令和8年11月 6日（金）

◆学校推薦型選抜

出願期間 令和8年11月 4日（水）～令和8年11月13日（金）
 試験期日 令和8年11月28日（土）・29日（日）
 合格発表 令和8年12月 4日（金）

◆一般選抜

出願期間 令和9年 1月25日（月）～令和9年 2月 3日（水）

（1）前期日程

試験期日 令和9年 2月25日（木）
 合格発表 令和9年 3月 6日（土）

（2）後期日程（個別学力検査は課さない）

合格発表 令和9年 3月20日（土）

令和9年度 公立はこだて未来大学 総合型選抜要項

出願はすべてインターネット出願（Web 出願）により受付します。

下記URLより行ってください。

<https://sak-sak.net/app/fun>



※ 出願に当たっては、サイト内の「出願手順」「Q & A」等をよく確認してください。

I 出願手続

1 募集人員

学 部 名	募 集 人 員
システム情報科学部	35人

2 試験期日

出願期間	令和8年 9月15日（火）～令和8年 9月25日（金）
第一次選考合格発表	令和8年10月 9日（金）※選考があった場合
第二次選考	令和8年10月31日（土）・11月 1日（日）
合格発表	令和8年11月 6日（金）

3 出願資格

次の（１）から（４）までのいずれにも該当する者が出願できます。

（１）次のいずれかに該当する者

- ① 高等学校または中等教育学校を卒業した者および令和9年3月卒業見込みの者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および令和9年3月修了見込みの者
- ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および令和9年3月31日までにこれに該当する見込みの者

※ 出願資格（１）③のうち、個別の入学資格審査により出願を希望する者は、事前に本学の出願資格の認定を受ける必要があります。なお、申請は、入学資格の認定を必要とする2か月前となります。（総合型選抜の出願予定者は7月15日までに申請が必要です。）詳細については、入試・広報・就職課 入試・広報担当（電話 0138-34-6444）へお問い合わせください。

- (2) 公立はこだて未来大学の教育内容を十分理解したうえで、本学において学ぶことを強く希望し、合格した場合には必ず入学することを確約できる者
- (3) 「数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学A，数学B，数学C」を履修している者，あるいはこれと同等の学力を有する者
- (4) 次の分野などで自己推薦の根拠となる具体的な活動実績を有し，プレゼンテーションにおいてそれを説明できる者

[活動の分野・実績の例]

[学 業]

○理数系

- ・ 探究的な学習の場において主体的に取り組み，優れた学修成果を収めた。
- ・ 部活動やサークル活動など，課外の活動に意欲的に参加して優れた成績を収めた。
- ・ 理数系科目や数学検定・統計検定などで優れた成績を収めた。

○外国語

- ・ 英検，TOEFL，TOEICなどで優れた成績を収めた。
- ・ 高い外国語運用能力を活かした活動実績を有する。

[課 外]

○情報科学

- ・ 情報処理技術者やITパスポートなどの資格を取得した。
- ・ 情報技術検定や情報処理検定に合格した。
- ・ プログラミングコンテストやハッカソンなどで優れた成績を収めた。
- ・ アプリケーション開発やシステム運用などを行った。
- ・ この分野の高い水準の知識や技術を有する。

○デザイン

- ・ コンテストやコンペなどで優れた成績を収めた。
- ・ 優れた表現，作品，プロダクト，活動実践などがある。

○その他

- ・ NPO，NGO，ボランティア団体などでの社会的な活動実践がある。
- ・ システム情報科学の学びに結びつく優れた課外活動実績を有する。

[社会経験]

- ・ 社会人としての実務経験があり，その分野における豊富な知識や高い技術を有する。

4 大学入学共通テスト

大学入学共通テストを受験する必要はありません。

5 提出方法

インターネット出願サイト（以下、「出願サイト」という。）での出願受付完了後、出力した「出願確認票（大学提出用）」等の提出用書類を任意の封筒（宛名ラベルを貼付したもの）に入れ、次のいずれかの方法により提出してください。

※ 宛名ラベルは出願確認票とともに出願サイトから印刷してください。

（1）郵送の場合

「速達簡易書留」扱いで郵送してください。（出願期間最終日の消印有効）

○送付先 〒041-8655

函館市亀田中野町116番地2

公立はこだて未来大学事務局

入試・広報・就職課 入試・広報担当

（2）持参の場合

出願期間最終日の午後5時までとします。

○提出先 函館市亀田中野町116番地2

公立はこだて未来大学事務局

入試・広報・就職課 入試・広報担当

受付時間 午前9時～午後5時

（土曜日、日曜日および祝祭日は受付できません。）

電 話 0138-34-6444

6 入学検定料

入学検定料 17,000円

振込期間 令和8年9月15日（火）～令和8年9月25日（金）

※ 入学検定料は、Webページからのクレジットカード決済のほか、コンビニエンスストア、ネットバンキング、Pay-easy（ペイジー）から支払うことができます。

※ それぞれの支払手続の詳細は、出願サイトの「利用案内」でご確認ください。

※ 支払手数料は別途必要となります。（支払方法により手数料は異なります）

※ 支払手続済であることの証明書類の送付は不要です。

（コンビニエンスストア支払の場合でも、領収書のコピー等の送付は不要です）

本学では、入学を希望する被災地の志願者に対し、進学機会の確保を図るため、入学検定料を免除する措置を講じています。

詳細は、本学Webサイト内の下記URLより確認してください。

<https://www.fun.ac.jp/admission/admission-faq/fee-exemption/>



7 提出用書類

出願サイトへの入力後、下記の書類に必要事項を記入して提出してください。

番号	出願書類等	備 考
1	出願確認票	出願サイトから出力したものを提出してください。
2	志望理由書①②	これまでの活動実績・志望理由・将来の目標などについて、40行程度で自由に表現してください。
3	自己推薦資料	プレゼンテーションのデータ（CD-RまたはDVD-R 2枚）とその印刷物（4部）に、それぞれ氏名を記入してください（シールなどの貼付も可）。
4	自己推薦資料の調書	プレゼンテーションのデータの記録媒体、作成・動作環境、および概要を記入してください。必要に応じて、補足事項にも記入してください。（詳細は10頁参照）
5	調査書等	在学または出身高等学校長が文部科学省所定の様式で作成し、 厳封したものを 提出してください。 なお、 在学中のものは、出願前3か月以内に作成したものを 提出してください。 高等学校卒業程度認定試験合格者等は、その合格成績証明書等を提出してください。また、調査書が提出できない方に限り、「主体性等に関する自身の経験についての記載」を提出することができます。
6	「提出用書類」送付用の封筒	任意の封筒に印刷した宛名ラベルを貼付してください。 差出人住所、氏名を忘れずに記入し、郵送の場合は必ず「速達簡易書留」扱いにしてください。直接持参する場合は、受付時間等に注意してください。

※20頁の提出用書類確認表等で、必要書類および必要事項が記入されているかを十分確認した後、書類を提出してください。

【受験票について】

受験票 PDF ダウンロード通知メールを受取後、出願サイトから自身で印刷してください。
印刷した受験票を試験当日持参してください。

8 出願上の注意

- 出願書類は、自筆により、黒のボールペン（ただし、インクが消せるものは不可。）ではっきりと記入してください。
- 16頁にある「渡島・檜山管内の者」に該当する場合は、出願サイト内の「居住地域」の項目で「渡島・檜山」を選択してください。それ以外の地域の場合は「その他」を選択してください。なお、この項目は入学料の区分に利用するもので、合否判定とは関係ありません。
- 出願サイトで写真データをアップロードする際には、**縦4cm、横3cm 上半身無帽正面向き、出願前3か月以内に撮影されたもの**を用いてください。
アップロードされた写真は受験票等に使用しますので、写真データは加工等がされていないものを用いてください。
- 出願サイトに自身のメールアドレスを入力した後は、メールアドレス入力欄にある「メール受信確認」ボタンを押印し、出願サイトからのメールを受信できるか確認するようにしてください。

- (5) 出願確認票、宛名ラベルおよび受験票の印刷は、白黒印刷・カラー印刷のどちらでも差し支えありませんが、写真が不鮮明にならないようにしてください。
- (6) 出願サイトへの入力だけでは出願手続は完了しません。**入力後は「提出用書類の郵送」および「入学検定料の支払い」を出願期間内に行ってください。**
- (7) 提出書類等に不備がある場合は受理できません。
- (8) 出願後は出願サイトに入力した情報および提出書類等の内容は変更できません。
ただし、誤入力に伴う訂正についてはこの限りではありませんので、その場合は速やかに事務局入試・広報・就職課入試・広報担当（電話 0138-34-6444）へ申し出てください。
- (9) 一度納付された入学検定料は、次に該当する場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。また、一度提出された出願書類も返還しません。

ア 検定料を支払ったが、出願しなかった（出願書類を提出しなかったまたは出願が受理されなかった）場合

イ 検定料を誤って二重に支払った場合

- (10) 出願サイト内や提出書類等に虚偽の記載や偽造写真のアップロード等があった場合、不正行為とみなして入学後であっても入学の許可を取り消します。
- (11) 身体等に障がいがある者のうち、受験上および修学上の配慮を必要とする場合は、出願の前に入試・広報・就職課入試・広報担当（電話 0138-34-6444）へ申し出てください。

【インターネット出願が困難な場合】

「身のまわりにインターネット環境がない」「提出用書類を印刷できない」など、やむを得ない事情によりインターネット出願による手続きが困難な場合は**令和8年9月16日（水）まで**に事務局入試・広報・就職課入試・広報担当（電話 0138-34-6444）へ申し出てください。

本学より紙媒体の学生募集要項を郵送いたします。（着払いにて送付いたします）

9 併願上の注意

- (1) 本学の総合型選抜に合格し、入学手続を完了した者は、本学の入学辞退の許可を受けた場合を除き、他の国公立大学（独自日程で入学者選抜を行う公立大学・学部を除く。）が実施する一般選抜前期日程、中期日程および後期日程を受験しても合格者にはなりません。
※ 独自日程で入学者選抜を行う公立大学・学部については、公立大学協会ホームページを確認してください。
- (2) 本学の総合型選抜に合格しなかった者は、本学および他の国公立大学が実施する選抜入試に出願することができます。
この場合は、当該大学の学生募集要項により、あらためて出願してください。
- (3) 国公立大学の分離分割方式による合格決定業務を円滑に行うため、総合型選抜の合格および入学手続に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センターおよび併願先の国公立大学に送達されます。

10 自己推薦資料

プレゼンテーションでは、自己推薦の根拠となる具体的な活動実績について、資料を用いながら5分以内で説明してください。必要に応じて、志望理由や将来の目標、その他にアピールしたいことなどを含めてもかまいません。

このプレゼンテーションと志望理由書に基づき、対話面接を行います。(対話面接では資料として調査書も活用します)

【資料の作成および提出の方法】

- プレゼンテーション用の電子データを保存したCD-RまたはDVD-R 2枚
(同じ内容のものを2枚作成してください。)
- 電子データの内容を印刷し、1部ずつホチキス留め等をしたもの4部
(動画部分は任意の箇所を抽出し、印刷してください。)
 - ※ 原則として、提出された電子データにより本学備え付けのノートPCでプレゼンテーションを行います。
 - ※ 資料の電子データは下記の規格で作成してください。
 - ・ Microsoft Office (Word, PowerPoint 等), Adobe Reader 等が搭載された Windows または Mac で動作可能なもの
 - ・ フォントはPC標準のもの (Windows-MS ゴシック, MS 明朝など Mac-ヒラギノなど) を使用すること
 - ※ 上記以外の規格 (タブレット端末を含む。) で作成した場合は, 「自己推薦資料の調書」の「3 補足事項」に内容と動作環境を記入してください。
 - ※ 自作アプリケーションや自作ウェブサイト作品等を提出する場合は, ファイルデータをプレゼンテーション用の電子データとあわせて保存し, 「自己推薦資料の調書」の「3 補足事項」に提出物の内容と動作環境を記入してください。プレゼンテーション資料の説明時間 (5分以内) には, これらの作品の実演および説明時間も含みます。説明時間中に実演しなかったものは評価の対象としません。なお, インターネットへの接続はできません。
 - ※ 本学備え付けのPCで動作できない場合は, PC (タブレット端末を含む。) や関係備品等を持参していただくことがあります。(本学から事前に連絡します。)

Ⅱ 入学者選抜方法

1 選抜方法

大学入学共通テストを課さず、提出された志望理由書、自己推薦調書、自己推薦資料、調査書および本学が実施する「適性検査」ならびに「面接」により総合的かつ多面的に評価し選考します。なお、選考にあたっては、必要に応じ、本人または高等学校等から聴取を行うことがあります。

(1) 第一次選考

志願者数が募集人員を大幅に超える場合には、出願書類審査により選考を行い、合格した者が、第二次選考の対象者となります。

第一次選考の有無については、10月2日（金）までに出席時に登録のあったメールアドレスあて通知いたします。

第一次選考を実施した場合の可否結果については、10月9日（金）に本人あて文書にて通知します。

(2) 第二次選考

「適性検査」および「面接」によって選考します。

期 日	時 間	試 験 内 容 等 (注1)		
10月31日 (土)	10:30 ～12:00	適性検査	総合問題A (150点) (注2)	理数系の基礎的な能力を評価するため、以下の出題を行います。 1. 基礎的な数学能力を問う問題 (50点) 2. データに関する基礎的な問題 (50点) 3. 情報に関する基礎的な問題 (50点)
	13:20 ～14:20		総合問題B (100点) (注3)	言語理解・言語表現の基礎的な能力を評価するため、以下の出題を行います。 1. 日本語能力を問う問題 (50点) 2. 英語能力を問う問題 (50点) (注4)
11月1日 (日)	9:30～	面接 (注5)	プレゼンテーション 対話面接 (250点) (注6) (注7)	思考力・判断力・表現力、主体性、および本学で学ぶうえでの適性などを検査します。対話面接では、志望理由書や調査書などの出願書類を活用します。

(注1) 総合問題AおよびBについて、それぞれに設定する基準点を下回った場合は合格者とはなりません。

(注2) 総合問題A出題ポリシー [18頁参照]

(注3) 総合問題B出題ポリシー [19頁参照]

(注4) 英語辞書の持込み可

本学の考える辞書の活用意義とは、文章の要になるような単語・熟語の適切な意味や用例をその場で調べることです。そうした辞書の活用は、本学の英語教育（コミュニケーション）において実践的な英語力のひとつと考えます。したがって、試験での辞書の持込みを認めます。

辞書の種類は、書籍型の英和、和英および英英とし、持込める冊数は各1冊です。電子辞書の使用は認めません。

付箋等はあらかじめはずしておいてください。また、辞書の余白部分に文章や文例等の書込みを用意し解答に使用するなど、本学の考える辞書の活用意義から逸脱すると判断される行為は、不正行為とみなす場合があります。

(注5) 面接の集合時間は、10月9日（金）までにお知らせします。

(注6) プレゼンテーションでは、志望理由や将来の目標のみを述べるのではなく、「これまでの活動実績(自己推薦資料)」について、具体的に説明してください。自己推薦資料の説明、質疑応答を含みます。

(注7) プレゼンテーションと志望理由書に基づき、対話面接を行います。

対話面接では、あらかじめ準備した内容を機械的に述べるのではなく、その場で示された問いについて、よく考え、わかりやすい言葉で表現してください。他者と理解し合おうとする態度や試みを重視します。

2 面接時の注意事項

- (1) 出願時に提出された自己推薦資料は、面接室内に用意します。それ以外のものを面接で使用することはできません。
- (2) 面接室内には、スクリーン、プロジェクターおよび本学備え付けのノートPCを用意します。
- (3) インターネットへの接続はできません。

3 第二次選考試験会場

公立はこだて未来大学 (函館市亀田中野町116番地2)

- ・函館バス 55A・B・C系統 「はこだて未来大学・赤川」行
「函館駅前」乗車 「はこだて未来大学」(所要時間 約45分) 下車 徒歩約1分
「五稜郭」乗車 「はこだて未来大学」(所要時間 約30分) 下車 徒歩約1分
- ・函館バス 55F系統 「はこだて未来大学・赤川」行
「五稜郭」乗車 「はこだて未来大学」(所要時間 約30分) 下車 徒歩約1分

※ バスの運行ダイヤはダイヤ改正により変更となる場合があります。



4 第二次選考受験上の注意

- (1) 受験者は、適性検査開始 30 分前までに指定された試験室に入室してください。
- (2) 適性検査開始後は、30 分以内の遅刻に限り受験を認めますが、試験時間の延長は認めません。
- (3) 原則として途中退室は認めません。
- (4) 適性検査および面接のどちらか一方でも受験しない場合は、入学者選抜の対象から除きます。
- (5) 机の上に置けるものは次のとおりです。それ以外のものを許可を得ずに身につけていたり手に持っているとは不正行為となることがあります。
受験票、鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り（電動不可・小型のものに限る）、時計（計時以外の機能を持つものを除く）、眼鏡、ハンカチ、ティッシュ（袋等から取り出したもの）、目薬
- (6) 受験票は、適性検査時には、試験監督員に明示できるよう机の上に置いてください。
- (7) 当日、受験票を忘れた者は、速やかに試験本部で仮受験票の交付を受けてください。
また、入学手続の際に必要なため、受験後も保管してください。
- (8) 英語については辞書を持込むことができます。
（英和、和英、英英 各 1 冊 ただし電子辞書は認めません。）
〔詳細は 11 頁（注 4）参照〕
なお、試験会場での辞書の貸し出しはいたしません。
- (9) 携帯電話、スマートフォン、PHS、アラーム、ウェアラブル端末等は、入室前にあらかじめ電源を切ってください。
- (10) 適性検査中における受験者間の物品の貸借は一切認めません。
- (11) 昼食の販売はしませんので、各自で用意してください。
（試験会場周辺に、弁当などを販売する店はありません。）
- (12) 試験会場周辺で合格電報等の受付を行う者がいても、本学とは一切関係なく、トラブルが生じて責任を負えませんので注意してください。
- (13) 宿泊の斡旋はいたしません。
- (14) 試験会場内の下見はできませんが、試験会場までの経路、所要時間等は、事前に確認しておいてください。

5 不正行為

(1) 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、受験した全ての適性検査の成績を無効とします。なお、不正行為については、状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

- ア 受験票等の内容を改ざんすること。
- イ 解答冊子へ故意に虚偽の記入（本人以外の氏名・受験番号を記入するなど。）をすること。
- ウ カンニング（試験の教科・科目に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。
- エ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
- オ 配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
- カ 解答冊子を試験室から持ち出すこと。
- キ 「解答はじめ。」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
- ク 試験時間中に、定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること。
- ケ 試験時間中に、電子機器類（携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等）を使用すること。
- コ 「解答やめ。鉛筆や消しゴムを置いて解答冊子を閉じてください。」の指示にしたがわず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。

(2) 上記以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示等にしたがわず、不正行為と認定された場合の取扱いは、上記と同様です。

- ア 試験時間中に、定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具や電子機器類（電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等）、教科書、参考書、辞書等の書籍類をかばんにしまわず、身につけていたり手に持っていること。
- イ 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など。）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
- ウ 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること。
- エ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- オ 試験場において監督者等の指示にしたがわないこと。
- カ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

Ⅲ 合格発表

1 合格発表日

第一次選考合格発表	令和8年10月9日（金）※選考があった場合
合格発表	令和8年11月6日（金）

2 合格発表の方法

第一次選考合格発表	受験者本人あてに文書で通知 ※選考があった場合
合格発表	合格者本人あてに文書で通知および本学ホームページ (https://www.fun.ac.jp/)に受験番号を掲載（午前10時頃）

※電話・電子メール等による問い合わせには応じられません。

Ⅳ 入学手続

1 入学手続期間

令和8年11月6日（金）～令和8年11月13日（金）

2 入学手続方法

（1）合格通知に同封する「入学手続案内」にしたがってください。

（2）入学手続の書類は、以下のとおり郵送または持参してください。

郵送の場合は「速達簡易書留」とし、入学手続期間**必着**とします。

○送付先 〒041-8655

函館市亀田中野町116番地2

公立はこだて未来大学事務局

入試・広報・就職課 入試・広報担当

持参の場合は、**入学手続期間最終日の午後5時**までとします。

○提出先 函館市亀田中野町116番地2

公立はこだて未来大学事務局

入試・広報・就職課 入試・広報担当

受付時間 午前9時～午後5時

（土曜日、日曜日は受付できません。）

電 話 0138-34-6444

3 入学料等

現行の入学料等の金額は次のとおりですが、変更場合があります。

(1) 入学料（入学手続期間内に納付してください。）

- | | |
|-------------|----------|
| ① 渡島・檜山管内の者 | 226,000円 |
| ② 上記以外の者 | 310,000円 |

注) 渡島・檜山管内の者とは、本人または1親等の親族等が、下記の市町村に**令和8年4月1日以前より引き続き住民登録している者**をいいます。

なお、その証明として、入学手続時、住民票を提出していただきます。

〔渡島管内〕 函館市，北斗市，七飯町，松前町，福島町，知内町，木古内町，
鹿部町，森町，八雲町，長万部町

〔檜山管内〕 江差町，上ノ国町，厚沢部町，乙部町，奥尻町，今金町，せたな町

(2) その他納付金（入学手続時に、別途お知らせします。）

- | | |
|-----------------------|---------|
| ① 学生教育研究災害傷害保険料（4年間分） | 3,300円 |
| ② 学研災付帯賠償責任保険料（4年間分） | 1,360円 |
| ③ 後援会費（4年間分） | 40,000円 |
| ④ 同窓会費 | 5,000円 |
| 計 | 49,660円 |

4 入学手続上の注意

(1) 期間内に手続を完了しなかった者については、入学を辞退したものとして取り扱います。

(2) 必要な書類がすべて揃っていない場合は受付できませんので、よく確認してください。

(3) 入学手続期間を過ぎて到着したものは受付しません。

(4) 一度受付をした入学手続書類および納付された入学料は原則返還しません。ただし、「大学等における修学の支援に関する法律」に基づく入学金等の減免制度の適用を受ける者については、入学後に減免区分に応じた額を返還します。

(5) 入学料等の納付は、本学所定の振込用紙を使用してください。

V 入学者選抜に関する情報の公開・開示

1 総合型選抜に係る個人情報の開示

令和9年度総合型選抜に係る受験者の個人情報については、本人の申請に基づき、開示します。

申請期間は令和9年5月1日～令和9年6月30日です。開示内容や申請方法については、令和9年4月中旬頃に本学Webサイト内の下記のURLに掲載いたします。

URL : <https://www.fun.ac.jp/admission/admission-faq/seiseki-kaiji/>

VI その他

1 授業料

現行の金額は次のとおりですが、令和9年度の金額については変更することがあります。

- | | |
|----------|--|
| ① 金額（年額） | 535,800円 |
| ② 納入方法 | 前期（納付期限4月末）・後期（納付期限10月末）の2回
（各267,900円）に分けて納付します。 |

2 ノートP C

入学時に所定の機能を備えたノートP Cを購入していただくことになります。
仕様等については、合格者あて来年3月上旬頃にご案内します。

3 奨学金等

奨学金および授業料の免除等については下記へお問い合わせください。

なお、本学では居住地特例制度による授業料等減免があります。内容や要件等については、本学Webサイト（URL : <https://www.fun.ac.jp/campus-life/admission-fee/#1-2>）をご確認ください。

教務・学生課 学生・留学担当 （電話0138-34-6445）

4 入学前導入教育

本学では、新入生が大学教育プログラムへスムーズに移行できるようにするため、総合型選抜・学校推薦型選抜合格者を対象に、12月末から来年2月頃にかけて、数学と英語の入学前導入教育を実施します。詳細は後日案内いたします。

総合型選抜 総合問題A出題ポリシー

総合型選抜における総合問題Aでは、システム情報科学分野を学ぶにあたり必要となる「学力の3要素」のうち「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を多面的・総合的に評価します。数学または情報科学に現れる様々な事項を理解して論理的に考察したり処理したりすること、さらには身近な事象の理解を深めたり問題解決といった「数学的活動」に関する基礎的な知識の理解と活用力を問います。

総合問題Aは、3つの異なる出題範囲の問題から構成されています。

1. 基礎的な数学能力を問う問題

主として「数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学A，数学B，数学C」の範囲から基礎的な知識の理解を問います。出題形式は、基本的な小問を5問程度出題します。

- ・数学Bの出題範囲は「数列」とします。
- ・数学Cの出題範囲は「ベクトル」とします。

2. データに関する基礎的な問題

図や表などを元にした設問により、読解，説明，推論する力などを問います。

- ・出題範囲は「数学Ⅰ」および「情報Ⅰ」とします。

3. 情報に関する基礎的な問題

情報科学の基礎（二進数の計算など）の理解，問題を解くための方法や手順を考える力，情報メディアの性質を理解し適切な表現について考える力，といった情報分野を学ぶにあたり必要となる基礎的な力などを問います。

大学では、教員の講義を聞いたり、日本語あるいは英語で書かれている書籍や論文を読んだりすることにより、さまざまな知識を得ていきます。また、与えられた課題の意図を正確に把握してレポートなどを作成したり、簡潔な試験答案を書いたりすることが求められます。総合型選抜における総合問題B、学校推薦型選抜における総合問題Ⅱでは、このような学習を自律的に進めていくために必要となる、言語理解・言語表現の基礎的な能力について日本語および英語の両面から問います。

1. 日本語能力を問う問題

日本語能力を問う問題では、以下の2点を評価します。これらの能力は、文系・理系にかかわらず、小学校から中学校、高等学校へと進む中で徐々に養われていくものと考えられます。

1) 論理的な思考力・理解力

- ・ 因果（原因と帰結）、相関、比較、並列、階層構造など、情報間の関係がわかる。
- ・ 情報を適切に分類できる。
- ・ 情報の抽象度の違いがわかる。
- ・ 情報の重複、話題の不整合、論理の飛躍などの文章上の問題点を発見できる。

2) 適切に説明する能力

- ・ 言葉の意味を理解し、日本語として適切な言葉・文法を用いて説明できる（語彙力）。
- ・ 文章の読み手に合わせて説明の仕方を工夫できる。
- ・ 主張・理由づけ・証拠による、説得力のある説明ができる。

2. 英語能力を問う問題

英語能力を問う問題は、高等学校学習指導要領等を踏まえながら、出題する文章と問題に独自の焦点を持たせています。おもに、科学およびデザイン、技術に関する場面において、情報や考えを理解したり伝えたりする能力を以下のとおり評価します。

また、試験において、辞書の使用を認めています。文章の要になるような単語の意味がわからないときに、単語の適切な意味をその場で見出すという辞書の活用は、本学の英語教育において実践的な英語力の一つと考えるためです。

1) 読解力

- ・ 文章の要点や概要を理解する。
- ・ 質問の要点を明確にし、与えられた文章の文脈と照らし合わせて適切な答えを選ぶ。
- ・ 文章の中から特定の情報を見つける。
- ・ 論点を明確にする中で、その論点と文章の構成や図表などの関係に着目する。

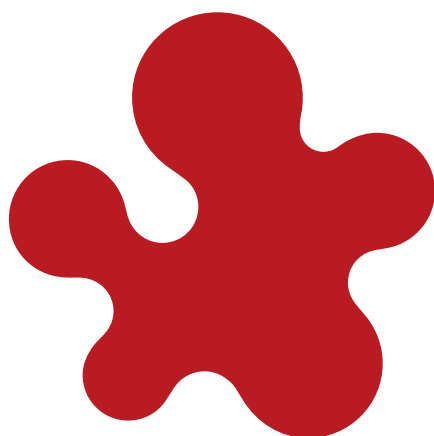
2) 構成力・表現力

- ・ 自分が聞いたり、読んだり、学んだり、経験したりしたことに基づいた情報や考え方について、一貫したまとまりのある文章を書き伝える。
- ・ 与えられた文章に示された情報に基づき、論理的で明確な文章を書く。
- ・ 論点を明確にする中で、その論点と文章の構成や図表などの関係に着目する。

提 出 用 書 類 確 認 表

次の書類が封入されているか確認してください。

番号	出願書類等	志願者確認欄	備 考
1	出願確認票		
2	志望理由書①②		
3	自己推薦資料		同じ内容のCD-RまたはDVD-R 2枚を作成し提出すること
4	自己推薦資料の調書		
5	調査書等		調査書を提出できない場合は、「主体性等に関する自身の経験についての記載」の提出が可能です



公立はこだて未来大学
FUTURE UNIVERSITY HAKODATE

〒041-8655

函館市亀田中野町116番地2

公立はこだて未来大学事務局

入試・広報・就職課 入試・広報担当

電 話 0138-34-6444

FAX 0138-34-6383

E-mail exam@fun.ac.jp

URL <https://www.fun.ac.jp/>